

機関番号：17102

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2007～2010

課題番号：19520239

研究課題名(和文) 初期「新フランス評論」誌と同時代文芸誌
——「詩と散文」誌との関係を中心に——研究課題名(英文) The Early *Nouvelle Revue Française* and its contemporary
literary magazines (such as *Vers et Prose* in particular)

研究代表者

吉井 亮雄 (YOSHII AKIO)

九州大学・大学院人文科学研究院・教授

研究者番号：40200927

研究成果の概要(和文)：過去4年間の主要な成果としては次の2点がある。第一は、フランスにおいて初期「新フランス評論」誌にかんする多数の関連未刊文献を参照・筆写し、同時代の文学環境について具体的な知見を得たこと。第二に、同誌と相互交流のあった雑誌「詩と散文」「ラ・ファランジュ」を調査し、とりわけ後者については総目次および各種索引を作成したこと(この成果はフランスのジッド研究センターから出版予定)である。いずれの資料体も当該研究課題にかんする第一次資料として大きな重要性をもつものであり、すでに少なからぬ新事実が発見・解明されている。

研究成果の概要(英文)：Our research over the last four years has produced two major results. Firstly, a substantial investigation of many unpublished documents related to the early *Nouvelle Revue Française*, and secondly, a complete index of its contemporary major periodical *La Phalange* (this work will be published in France). It is clear that these two research areas are both of great importance as primary sources. In fact, they have already provided us with a number of discoveries and enlightening surprises.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2008年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
2010年度	0	0	0
総計	2,800,000	840,000	3,640,000

研究分野：フランス文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ語系文学

キーワード：仏文学、新フランス評論、アンドレ・ジッド、誌と散文、ラ・ファランジュ

1. 研究開始当初の背景

報告者は、すでに科学研究費補助金による

2つの研究(「アンドレ・ジッド草稿研究」、
課題番号13610609、平成13～15年度、およ

び「初期『新フランス評論』誌とフランス語圏ベルギー文学」、課題番号 16520162、平成 16～18 年度）をつうじて、未刊書簡をはじめとする多数の文献や資料を渉猟し、これによって 20 世紀初頭フランスの文学環境にかんする実証的知見を深めた。とりわけジッドが 1909 年に創刊した「新フランス評論」誌は一貫して主要な研究対象であった。

上記の実証的蓄積をつうじて「新フランス評論」誌創刊前後のフランス国内外の文学交流の重要性を強く認識したことが本研究課題の着想源となっている。周知のように「新フランス評論」が編集方針のひとつとして標榜したのが 20 世紀の新たな文学理念の確立であった。外国文学を積極的に受容・紹介したのもその一環であったが、国内的には「世紀末象徴主義との決別」という面を強く打ち出していた。ポール・フォール主宰の「詩と散文」（1905 年創刊）をはじめ、いくつかの文芸誌が象徴主義の継承を謳ったのは対蹠的な編集方針だったといえよう。だが実際には、アンドレ・ジッドら「新フランス評論」グループはこれらの文芸誌とは相当に密接な関係を保ち、頻繁に情報を交換しつつ、ときには相互に作品を提供しあっていたのである。

2. 研究の目的

本研究の目的は、上記のように理念と現実とが複雑に錯綜する同時代文学環境の具体相を実証的に考究し、あわせて、第 1 次大戦を機に象徴主義諸誌が相次いで消滅した後も「新フランス評論」誌が如何にして存続し新たな発展・成長期を迎ええたのかを探ることにある。

初期「新フランス評論」誌と「誌と散文」誌との関係を総合的に論じた研究は実質的に皆無であった。それゆえ本研究は 20 世紀文学史の一側面に証明を当てる貴重な貢献となることが期待された。また従来にもまして「相互的メディア交流」の重要性が指摘される今日、ひとり雑誌編集の実態解明にとど

まらず、広く文化的な伝播・交流のあるべき姿を探る手だてとしても本研究の意義は大きいものと思われる。

申請者は最近では、仏英の共同研究グループが作成したジッド『法王庁の抜け穴』批評生成版（ガリマール出版、2001 年）の校閲を担当、また斯界の第一人者クロード・マルタン国際ジッド学会名誉会長と共同で『ジッド研究書誌（1918-2008 年）』（ジッド研究センター、2009 年）を作成するなど、海外との情報交換・共同研究も積極的におこなっている。その点においても本研究は国際的な学術交流推進の一助となろう。

3. 研究の方法

本研究課題が対象とする時期（一応の区切りとして 1905 年からの 10 年間）に刊行され、かつ「新フランス評論」グループと何らかの関わりがあった文芸誌については、すでに作成していた予備的なリストにしたがい、資料体の構築を進めつつ、実地の参照・閲覧調査をおこなった。

国内では入手難の雑誌類の参照と並んで、未刊行の文献や資料（特にジッドと同時代作家・文学者たちが交わした書簡）の閲覧・筆写のため、数回にわたりフランスでの現地調査をおこなった。主要な訪問機関はパリ大学附属ジャック・ドゥーセ文庫とフランス国立図書館の 2 カ所であったが、ジッドの遺産相続人カトリーヌ・ジッド女史の個人蔵をはじめ、数件の私的コレクションの調査もおこなった。

ちなみに公的所蔵機関のうち、ドゥーセ文庫の場合は閲覧規則がきわめて厳格であり、書簡類にかんしては発信者（あるいはその遺産相続人）の書状による許可が必要とされるが、事前の探索・調査によってこれを首尾よく取得し、現地での無用な時間的ロスを防ぐように努めた。記載テキストの精確な筆写は時間のかかる作業であるが、すでに親交を結んでいるフランス人研究者・図書館司書に解

読・筆写の協力を仰ぎ、効率的な作業をおこなった（なお、協力は個人的な友誼にもとづくものであり、すべて無償である）。

以上の作業成果にもとづき、研究課題にかんし具体的かつ実質的な概観の提示が可能となった。

4. 研究成果

実際の作業・分析は当初想定した4年間の計画よりも順調に捗り、最終年度（第4年度）は新規科研費補助金（課題番号 22520318、「初期『新フランス評論』誌と同時代の象徴主義文芸誌」、平成22～24年度）に切り替え、とりわけジャン・ロワイエールが主宰した「ラ・ファランジュ」誌の参照・分析を進めることができた。その成果の一端として前出のクロード・マルタン氏と共同で、同誌の総合的な書誌・索引を完成した（同書はフランスのジッド研究センターより出版予定）。これによって、さらに大きな射程で研究課題を捉え直すことが可能になり、今後の展望をいっそう確かなものにする事ができた。

また実質的な研究期間（平成19～21年度の3年間）に、本課題に関連して学术论文9点、著書2点を公刊することができた。当初の計画を順調に遂行し、相応の成果をあげたと自負するものである。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

[雑誌論文]（計9件）

- ① 吉井亮雄「ジッドとチボーデ」、『ステラ』第29号（査読有り）、九州大学フランス語フランス文学研究会、2010年12月、1-40頁。
- ② 吉井亮雄「ジッドと『タン・フューラル』誌」、『ステラ』第29号（査読有り）、九州大学フランス語フランス文学研究会、2010年12月、41-44頁。

会、2010年12月、41-44頁。

- ③ Akio YOSHII, « Découvrons Henri Michaux d'André Gide. La conférence non prononcée en mai 1941 », *Bulletin des Amis d'André Gide* (査読有り), n° 167, juillet 2010, pp. 311-332.
- ④ Akio YOSHII, « Gide et Tolstoï. Autour de la lecture du *Retour de l'Enfant prodigue* à Iasnaïa Poliana », *Bulletin des Amis d'André Gide* (査読有り), n° 166, avril 2010, pp. 205-212.
- ⑤ 吉井亮雄「アンドレ・ジッドとポール・フォール (2)」、『ステラ』第28号（査読有り）、九州大学フランス語フランス文学研究会、2009年12月、163-178頁。
- ⑥ 吉井亮雄「『新フランス評論』創刊百周年——アンドレ・ジッド関連の出版・行事を中心に——」、『仏文研究』第40号（査読有り）、京都大学フランス語学フランス文学研究会、2009年10月、1-12頁。
- ⑦ 吉井亮雄「アンドレ・ジッドとポール・フォール」、『ステラ』第27号（査読有り）、九州大学フランス語フランス文学研究会、2008年12月、1-21頁。
- ⑧ 吉井亮雄「ジッドの『アンリ・ミショーを発見しよう』——1941年のニュース講演中止をめぐって——」、『仏文研究』第39号（査読有り）、京都大学フランス語学フランス文学研究会、2008年10月、123-146頁。
- ⑨ 吉井亮雄「ジッド『オイディプス』校訂版をめぐって」、『ステラ』第26号（査読有り）、九州大学フランス語フランス文学研究会、2007年12月、165-176頁。

[学会発表]（計1件）

- ① 吉井亮雄「ジッドの『アンリ・ミショーを発見しよう』——1941年のニュース講演中止をめぐって——」（特別講演）、京都大学フランス語学フランス文学研究会年次総会、京大会館（京都市左京区）、2008年5月17日。

〔図書〕（計2件）

- ① 吉井亮雄（分担執筆）『文学作品が生まれるとき——生成のフランス文学』（吉川一義・田口紀子共編）、京都大学学術出版会、2010年10月、52-55頁、375-397頁、471-474頁（「ジッド『狭き門』の成り立ち——構想・執筆から雑誌初出、主要刊本まで」、「ドゥルオ会館における古書・自筆稿類の競売」、「ジャック・ドゥーゼ文庫」）
- ② Claude MARTIN - Akio YOSHII, *Bibliographie chronologique des livres consacrés à André Gide (1918-2008)*. Lyon : Centre d'Études Gidiennes, janvier 2009, 140 pp.

〔その他〕

ホームページ等

- ▶ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/french/>（九州大学仏文学研究室 HP）
- ▶ http://leda.lib.kyushu-u.ac.jp/profile/au_name:吉井,+亮雄（九州大学学術情報リポジトリ、吉井亮雄プロフィールページ）

6. 研究組織

(1)研究代表者

吉井 亮雄（YOSHII Akio）

九州大学・大学院人文科学研究院・教授

研究者番号： 40200927

(2)研究分担者／なし

(3)連携研究者／なし